

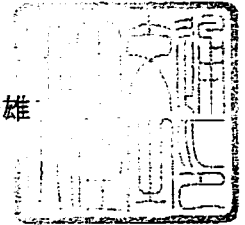


認定書

国住指第 2724 号
平成 17 年 2 月 17 日

積水化学工業株式会社
代表取締役 大久保 尚武 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0220
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
給・排水管/アクリル系樹脂シーリング材・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス充てん/壁耐火構造/貫通部分
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

1. 構造名

給・排水管／アクリル系樹脂シーリング材・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス充てん／壁耐火構造／貫通部分

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
開 口 部	(形状) 円形 (面積) 0.0064 m ² 以下 (φ90 以下) (円形開口部と管のすきま) 10 以下
占 積 率 (開口面積に対する給・排水管 断面積の総合計の割合)	71.3%以下 (0.0045m ² 以下)
貫通する壁の構造等	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 中空壁(建築基準法施行令第115条の2の2第1項第一号の規定に基づき、大臣が指定もしくは認定した準耐火構造(60分)及び建築基準法第2条第七号の規定に基づき、国土交通大臣が指定もしくは認定した耐火構造(60分)の壁) ・厚さ 100 以上 (2) ALCパネル ・厚さ 75 以上 (3) コンクリート ・厚さ 70 以上

3. 材料構成
1) 主構成材料

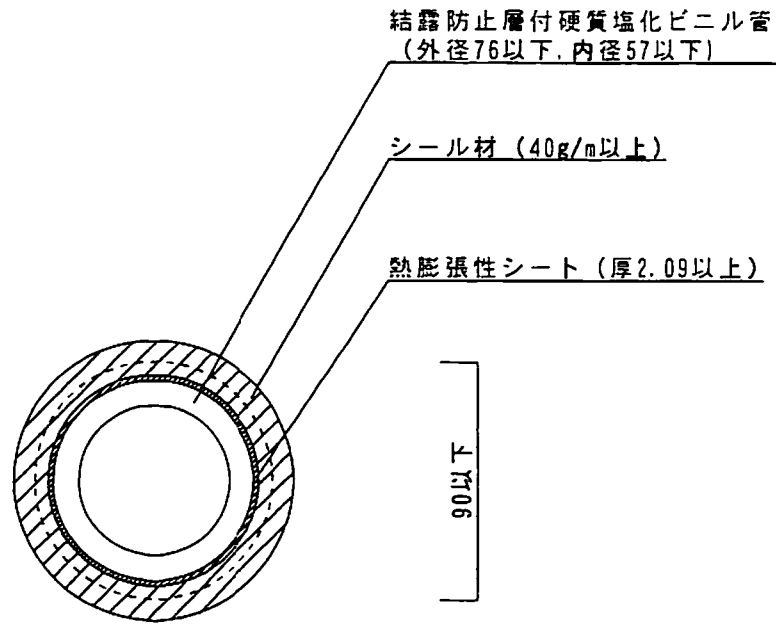
(寸法単位：mm)

項目		申請構造		
給・排水管	結露防止層付 硬質塩化ビニル管	外径	76 以下	
		内径	57 以下	
防火措置材料	膨張材 「黒鉛含有ブチルゴムシート裏張/アルミニウムはく張ガラスクロス」 (以下、熱膨張性シートという)	総厚さ	2.09 以上	
		幅	片側施工の場合 80 以上 (貫通部分 70 以上) 両側施工の場合 40 以上 (貫通部分 30 以上)	
		基材	厚さ	0.09~0.25
			材質	アルミニウムはく張ガラスクロス
	シート	厚さ	2.0 以上	
	シール材	(1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする		
		(1) シーリング材	規格	JIS A 5758
			材質	イ)~ト)のうち、いずれか一仕様とする イ) アクリル系樹脂 ロ) アクリルウレタン系樹脂 ハ) ポリウレタン系樹脂 ニ) シリコン系樹脂 ホ) 変成シリコン系樹脂 ヘ) ポリサルファイド系樹脂 ト) 変成ポリサルファイド系樹脂
			使用量	40g/m 以上
(2) せっこう系接着剤		使用量	40g/m 以上	
(3) せっこうボード 用目地処理材		規格	JIS A 6914	
	使用量	40g/m 以上		
(4) モルタル	使用量	40g/m 以上		

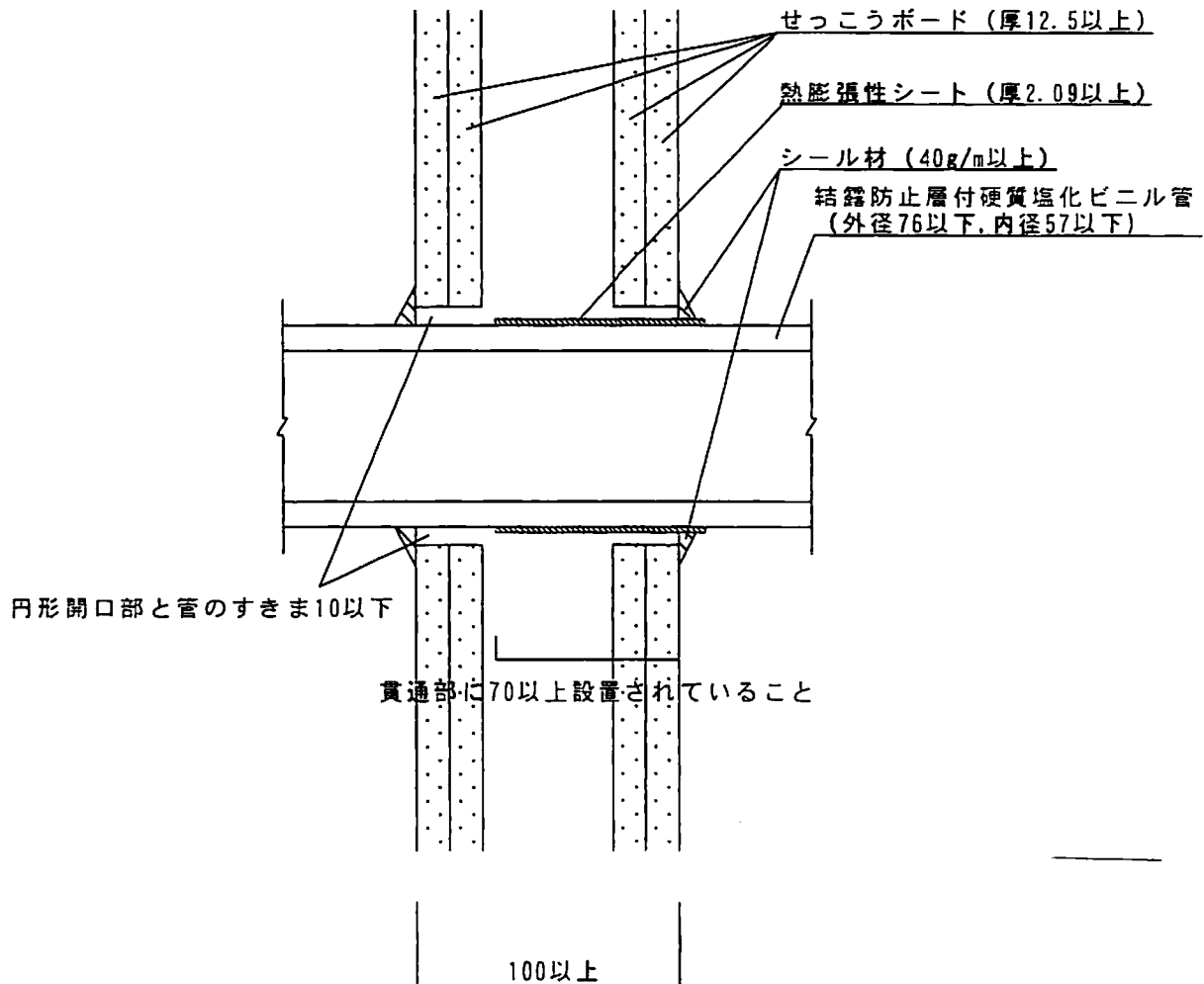
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

熱膨張性シートを片側のみに施工する場合
・正面図



・断面図



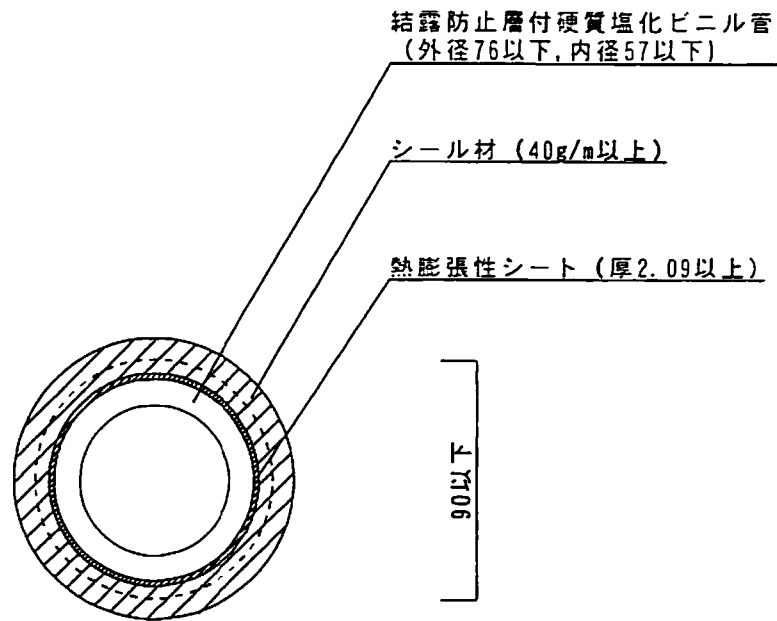
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(別添-3)

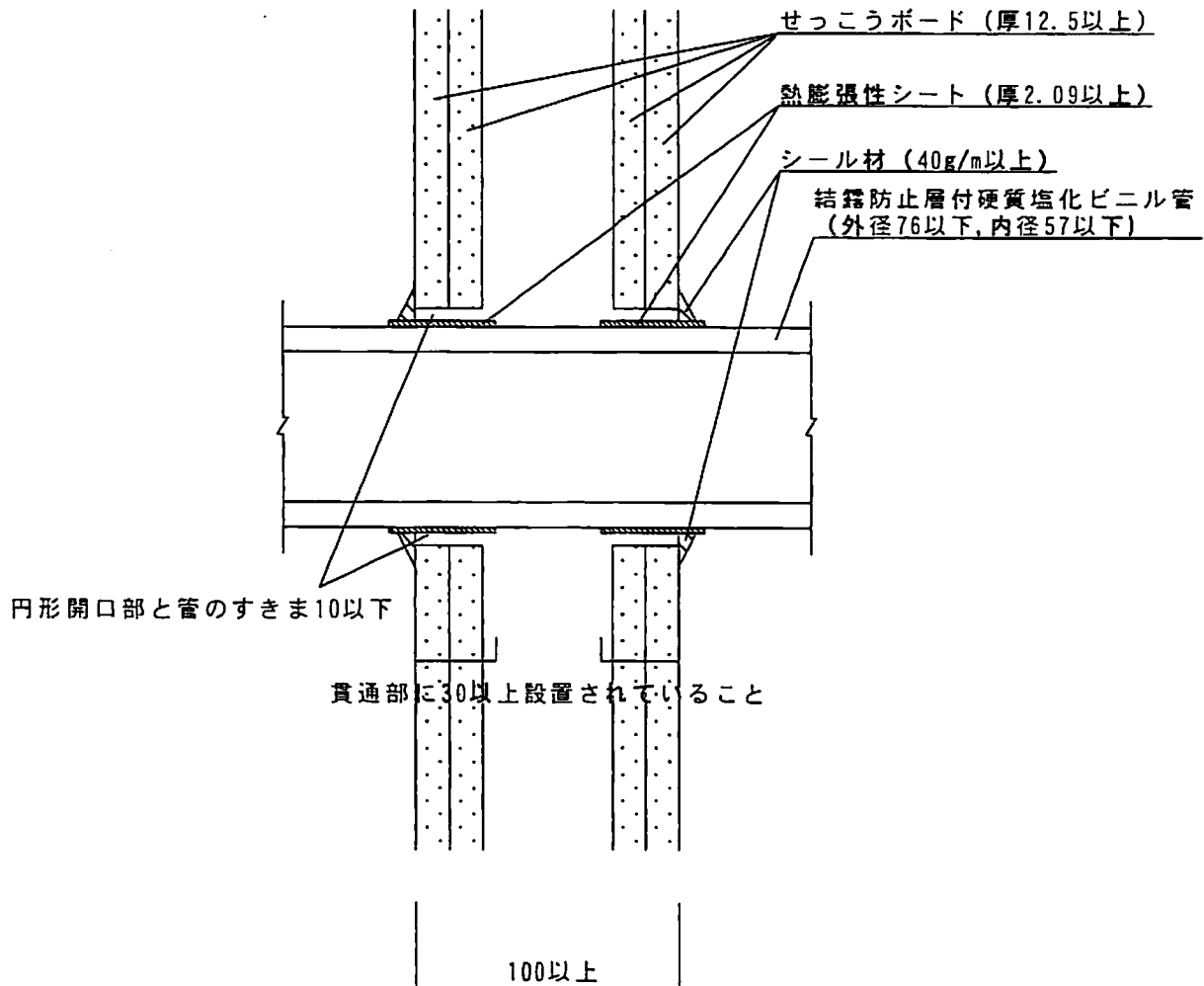
(寸法単位：mm)

熱膨張性シートを両側に施工する場合

・正面図



・断面図



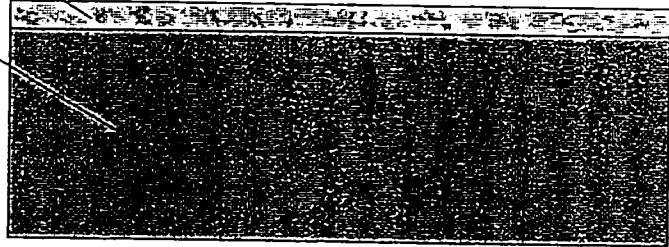
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(別添-4)

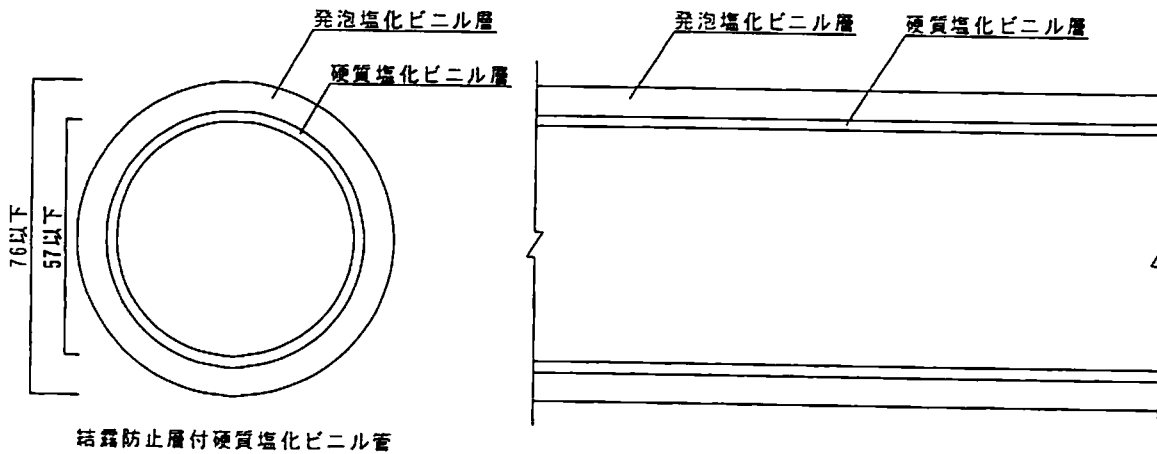
熱膨張性シート図

アルミニウムはく張
ガラスクロス(厚0.09~0.25)

黒鉛含有
ブチルゴムシート(厚2以上)



結露防止層付硬質塩化ビニル管図



結露防止層付硬質塩化ビニル管

注) 寸法および材料構成は、2および3のとおり

5. 施工方法等
＜施工手順＞

(1) 事前準備

開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する(開口径φ90mm以下)。

(2) 区画貫通処置

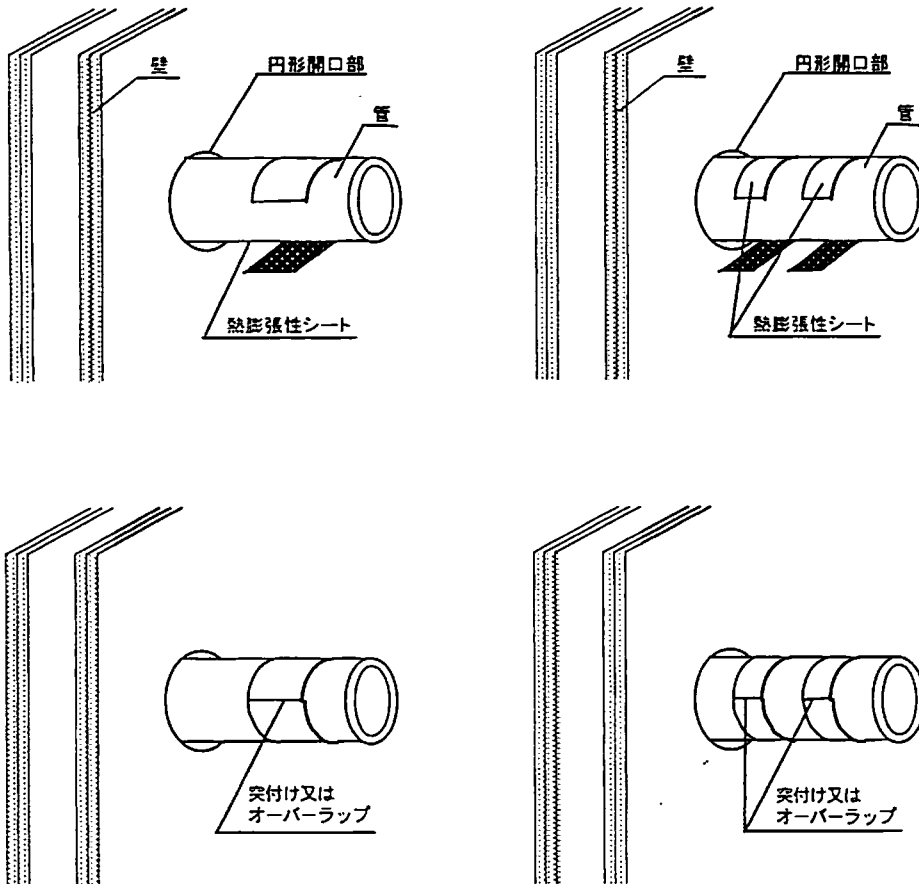
① 熱膨張性シート巻付け位置の設定

パイプ継手位置から開口部までの長さを測り、熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。墨の位置は巻付けた熱膨張性シートが確認でき、かつ熱膨張性シートが片側施工の場合は70mm以上、両側施工の場合は30mm以上貫通部に入る位置となるようにする。

② 熱膨張性シートの巻付け

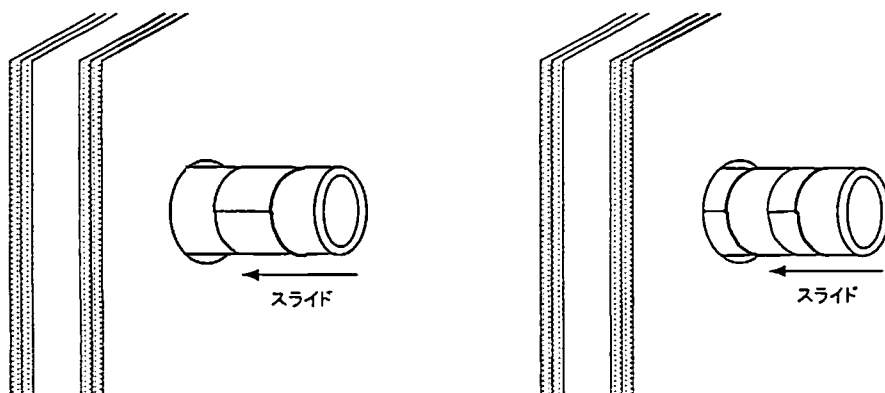
上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻付けてもよい。

また、熱膨張性シート巻付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻付ける(オーバーラップ可)。

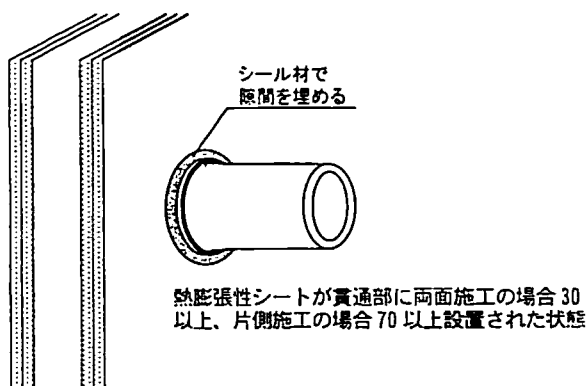


③シール材の充てん

管をスライドさせ、所定の位置に設置し、両壁面側の隙間をシーリング材で充てんする。

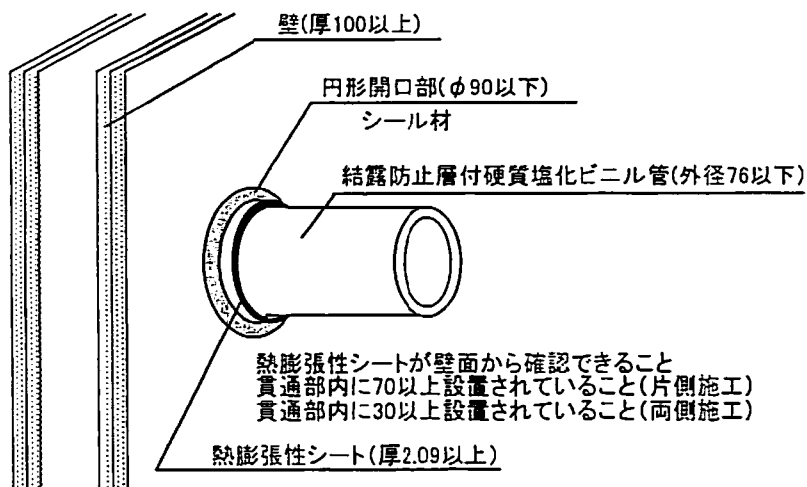


(寸法単位：mm)



(寸法単位：mm)

<施工図>



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

6. 注意事項

本構造に使用する被覆材については、耐久性に留意し、所定の耐火上の性能が維持されるよう適切な処理を行う必要がある。